



兵庫県立いなみ野特別支援学校 支援部(TEL:079-492-6161) R8.7.21 発行 第4号

※本紙は本校ブログにも掲載しています。



日差しがいよいよ夏本番の勢いを増し、青空に入道雲が広がる季節となりました。保護者の皆様、教職員の皆様、そして地域の自治会や近隣校、児童発達支援施設の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。学校の敷地内では新校舎の骨組みが姿を現し、少しずつ形になっていく様子に胸が高鳴ります。子どもたちも夏の暑さに負けず、日々の活動の中で小さな成長を重ねています。夏休みを前に、どうぞ体調管理や安全にも気を配りながら、穏やかな夏をお過ごしください。



◆8/7 小学部就学前相談 予備日、中学部教育相談 予備日

◆8/13~16 学校閉庁日 ◆8/20~26 高3進路相談会(福祉・明石)

◆9/1 始業式、短縮 11:40 下校 ◆9/2 短縮 11:40 下校

◆9/3 給食開始、平常授業開始 ◆9/4 高3参観・進路説明会 ◆9/17~18 中2宿泊学習



※予定は変更になる場合があります。右の QR コードをスマホで読み取り、本校ブログにてご確認ください。



今回は、本紙を発行している支援部の取り組みについて、ご紹介します。

支援部は、児童生徒一人一人がその子らしく力を発揮できるよう、校内外をつなぎながら支援を行う部署です。

まず外部との連携として、福祉施設や医療機関、行政の窓口、相談機関などと連絡を取り合い、必要な支援が途切れないよう調整を行っています。

校内では、担任からの相談を受け、必要に応じて支援部長(特別支援教育コーディネーター)が直接学級に入り、児童生徒への支援や担任のサポートを行っています。また、日頃から児童生徒の様子を丁寧に観察し、その気づきをもとに担任へ助言したり、一緒に良い支援の方法を考えたりすることも大切な役割です。

さらに、校内で「支援会議」を開催し、教職員がそれぞれの立場で得た情報を共有することで、学校全体としてより適切な支援につなげています。

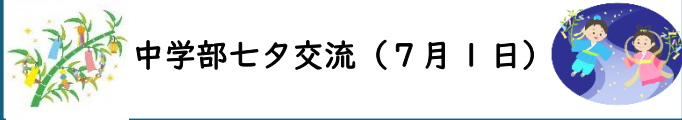
地域とのつながりも大切にしており、地域の自立支援協議会に参加し、学校と地域が連携した支援体制づくりにも貢献しています。あわせて、本校はセンター的機能を担う立場として、地域の学校や関係機関からの相談にも応じ、支援のノウハウを共有しています。

支援部は、児童生徒一人一人が安心して学校生活を送り、その力を存分に発揮できるよう、担任や保護者、関係機関の皆様と連携しながら、学校全体で支援を進めてまいります。





現場からの 実践紹介



中学部七夕交流（7月1日）



中学部は7月1日(水)に稲美中学校にて七夕交流に参加しました。今回は稲美中学校との七夕交流について事前・当日・事後の3つに分けて様子をお伝えいたします。今年度は人間関係や経験を広げることや、共に助け合い、支え合うことの大切さを学ぶことを目的に、いなみ野特別支援学校中学部生徒と稲美中学校第1学年生徒、加古川養護学校生徒1名が七夕交流に参加しました。

事前

稲美中学校の代表生徒たちが、本校の生徒へ宛てた招待状を1人1人に手渡してくれました。招待状には生徒それぞれの好きなものが描かれており、本校の生徒たちは七夕交流へ期待感が高まっている様子でした。交流活動で行われる、歌「たなばたさま」、ダンス「ジャンボリミッキー」を交流当日に向けて学習や休み時間等で練習を行いました。



招待状受け取りの様子

七夕交流 当日

スクールバスに乗って、本校生徒たちは稲美中学校へ向かいました。稲美中学校では、生徒たちがようこそそのカードを掲げて出迎え、大歓迎してくれました。各班15人程度に分かれて、交流活動を行いました。七夕飾りつけでは、大きな笹の葉に、お互いで貼りたい位置を確認し合い短冊や飾りを張り付けることができました。歌



七夕飾りの様子



七夕飾り完成時の様子



歌「たなばたさま」の様子



ダンス「ジャンボリミッキー」の様子

「たなばたさま」では、稲美中学校の生徒、本校の生徒も一緒に前に出て手話とともに歌うことができ、会場は一体感に包まれていました。本校生徒の多くが、「七夕交流楽しかった!」「また行きたい!」と大満足の様子で交流活動を終えることができました。

事後

七夕交流に招待してくれた稲美中学校へ本校の生徒が1人1人お礼状を書きました。



支援の視点

— 掲示物やカードの作り方 —



学校生活や活動などにおいて、口頭の指示や指導が伝わりにくい子どもには、掲示物やカードなどの視覚支援を用いて、理解を促すようにしています。児童生徒それぞれの実態に合わせた、視覚支援を準備して活用しますが、本や資料を参考に視覚支援を活用することも多くあります。例えば、活動や作業の流れは、手順を示すことと、イラストや写真を添えて視覚的に示すことの両方のポイントを抑えることが重要です。

夏休みや2学期に向けて、掲示物やカードを作るときの参考にしてみてください♪
参考:「特別支援教育をサポートする ソーシャルスキルトレーニング(SST)実践教材集」上野一彦ら、株式会社ナツメ社、2024.10.20.p30-31

